

2023年度(第5期第3回通期31回)

日本宗教史懇話会サマーセミナーのご案内

本会は、日本宗教史に関心のある諸氏が、それぞれの専門とする時代や学問分野、世代を超えて自由に参加し、研究報告を通して真摯な議論や交流を行う場として、毎年夏期に合宿形式で開催を重ねてまいりました。しかしながら、いまだ新型コロナウイルスの影響も残っておりますので、今年度は合宿形式での開催は断念し、学会形式での対面開催を企画いたしました。3日間のスケジュールで、初日にシンポジウム、2日目に個別報告、3日目に見学会を予定しております。是非とも、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

※スケジュールの後に、参加申し込みフォームがございます。参加をご希望の方は、必ずこの参加申し込みフォームから、事前申し込みを済ませて下さい。

呼びかけ人: 安藤 弥 遠藤 潤 碧海 寿広 大田 壮一郎 川端 泰幸 苅米 一志

小林 奈央子 駒井 匠 小山 聡子 土居 浩 富樫 進 徳永 健太郎

引野 亨輔 平野 寿則 福島 栄寿 藤本 誠 細井 浩志 堀 裕

松金 直美 芳澤 元

◆今年度開催地世話人: オリオン・クラウタウ 曾根 原理 高橋 原 富樫 進

引野 亨輔 堀 裕

◆共催: 東北大学大学院文学研究科

【会 場】 東北大学川内キャンパス(文学部第1・第2講義室)

宮城県仙台市青葉区川内 27 番 1 号

* 仙台市営地下鉄東西線「川内駅」徒歩 5 分

【日 程】 2023 年 9 月 3 日(日)～5 日(火)

【参加費】 研究会 参加費無料

見学会 一般(常勤職にある方)4000 円

学生・院生・非常勤職・サマーセミナーの報告者 3000 円

【スケジュール】

◎9 月 3 日(日) シンポジウム(1 日目)

12:30 受付開始

13:00 開会

シンポジウムテーマ「中世後期東北宗教史の可能性—資料論・都鄙交流・霊場—」

シンポジウムパネラー

大内典氏(宮城学院女子大学)

「宗教文化媒介者としての楽人—慈恩寺における林家舞楽を中心に—」

佐々木徹氏(仙台市教育委員会)

「曹洞仏法の霊場と奥羽社会—東北の「戦国仏教」を考える—」

七海雅人氏(東北学院大学)

「宮城県北部における板碑造立の展開」

久野俊彦氏(東洋大学)

「真言僧祐俊の聖教典籍書写の旅—奥会津の寺院聖教から見る上方と東国・東北の交流—」

芳澤元氏(明星大学)

「奥羽・北方の都鄙関係と室町仏教」

司会 曾根原理氏(東北大学)

コメント 阿部泰郎氏(龍谷大学)・大田壮一郎氏(立命館大学)・佐藤弘夫氏(東北大学)

17:30 1 日目終了

◎9 月 4 日(月) 個別報告(2 日目)

9:30 開場

10:00～11:30

研究報告①古代史:菱田哲郎氏(京都府立大学)「古代山寺の成立—考古学調査の成果から—」

11:30～12:30 昼休憩(1 時間)

12:30～14:00

研究報告②近世史:原淳一郎氏(山形県立米沢女子短期大学)「近世湯殿山信仰習俗の復元」

14:00～14:15 休憩(15 分)

14:15～15:45

研究報告③近現代史:小嶋翔氏(吉野作造記念館)

「尚綱女学校校長アニー・S・ブゼルの思想と活動—明治期仙台におけるプロテスタント伝道—」

15:45～16:00 休憩(15 分)

16:00～17:30

研究報告④近現代史:君島彩子氏(和光大学)「美術制度の成立と近代的観音像の変容」

17:30 連絡事項

17:40 2 日目終了

◎9 月 5 日(火) 見学会(3 日目)

8:15 仙台駅東口観光送迎バス乗降場集合(※8:30 発車)

大崎八幡宮・龍寶寺(国重文「木造釈迦如来立像」拝観)・

名取市震災伝承復興館・ゆりあげ港朝市(メイプル館)・

大悲山石仏などを見学

16:30 頃 仙台空港到着(途中解散)

17:20 頃 仙台駅東口到着(解散)

◆申し込み方法

下記のリンクをクリックして、専用フォームを開き、ご入力(お申し込み)ください。見学会参加希望者の参加費事前入金先(郵便口座)はお申し込み後にメールにてお伝えします。

※感染症対策の観点から、入場者数を制限する可能性がありますので、必ず事前にお申し込みください。

[2023 年度日本宗教史懇話会サマーセミナー参加申し込み\(google.com\)](#)

◎申し込み締め切り日:2023 年 8 月 28 日(月)

※見学会は先着 40 名で締め切らせて頂きますので、お早めにお申し込みください。